

□議員名：矢田松夫

1 竜王山公園の環境整備について

論点	市のランドマークである竜王山公園は、適切に管理されているか。
回答	公園利用者から草刈りなど維持管理について管理が行き届いていないとの意見をいただいている。作業員の確保が十分でないことが主な原因である。今後は適切な管理が行えるよう努めていく。

論点	1者に指定管理がなされた契約方法に少し無理があったのではないか。5年契約を見直すことができるのか。
回答	制度は5年間契約だが、次の5年間や今の契約をどのようにしていくのか、それとも他の方法があるのか、今後の検討課題としたい。

論点	植栽した1万本の桜は倒木となり、環境保全の障害となっていないのか。現状について答えよ。
回答	樹勢は落ちているので、計画的に樹種転換、植え替え、枝抜きなどを考えていく。テングス病など樹木医と相談しながら、適切な指定管理方法について検討をしている。

論点	新たな桜の倒木、伐採する時の費用分担（リスク）はどちら側にあるのか。
回答	市が植えたものは市が管理することになっている。

論点	竜王山公園と新しく生まれ変わる「きらら交流公園整備事業」の位置づけはどのようにになっているのか。
回答	来館者を、竜王山公園を含めた各施設に効果的に誘導するための情報発信、PRイベントの開催、館内の観光案内や回遊コースの提案をしていく、にぎわいの創出につなげていく。

2 JR美祢線の復旧手段について

論点	鉄道での復旧ができない理由は、何であるのか。
回答	鉄道で復旧する場合の費用負担の大きさ、復旧まで長い時間を要することに懸念を示す発言が多い。

3 児童クラブの定員について

論点	おおむね 40 人以下の定義を聞く。
回答	国が設備や人員配置等の基準を策定し、これを参照し市町村が定めた条例で運営し、指針を決めた中で、支援員等が個々の子供との信頼関係を築く規模としてはおおむね 40 人以下とされている。

論点	埴生児童クラブについては、夏休みの利用者が 40 人以上で運営されている。余裕教室を利用するなどとか今後の検討課題として環境改善する気があるのか。
回答	6 年生までの受入れの学年拡大など埴生児童クラブも含めまして、児童クラブ全体について改善を加えながら子育て支援につながるようしていく。